島田市ゆめ・みらい百人会議　エコまち未来プロジェクト　中間報告　平成 26 年 8 月 30 日

― Aチーム ―

1．テーマ名　「島田市で小水力発電を創出しよう」

■ 目的（目指す方向）

（1）大井川用水の供給の起点である、島田市の特長（水の都）を活かし、今、脚光を浴びている再生可能エネルギーによる、「小水力発電」を、島田市の自前で創出する。

（2）先ずは、早く１ヶ所、モデルケースをつくる。

① 緊急避難場所の緊急電源（市民の携帯充電・炊き出しなど）を確保する。

② 常時は、隣接する公会堂等への電気の供給や、周辺街路灯の点灯に使う。
市有の電気自動車や電気自動車保有市民への無料充電に使う。
再生可能エネルギーに関する、市民や児童教育の拠点として活用する。

③ 常時は全て売電し、緊急時は緊急電源に切替えて使用する方法もあるので検討会で良く検討する。

■ 目的達成のための手段

（1）設置場所

① 市または大井川土地改良区が維持管理をしている、緊急避難場所の隣接地を流れる用水路

（2）発電設備　※「１０月１８日(土)　くらし・消費・環境展　２０１４」に模型・説明板出展予定

① 発電機：用水路の水量によるが、発電量　１０ｋW 程度を目指す。（常時売電の場合）

② パワーコンディショナー　③ 蓄電設備　④ 急速充電器　・商用電源確保

■ これまでの調査・検討状況

（1）大井川用水と発電候補地現地視察　１回　（2）分科会内勉強会　１回

（3）行政各課との合同勉強会　１回　（4）分科会内ミーティング（検討会）　５回

■ 今後の進め方　←　行政・市民協働で検討・実施したい。国の助成金や水利権の確保のため具体化を急ぐ。

（1）合同検討会の設置（市・大井川土地改良区・ゆめみらい百人会議・市民環境活動団体・事業者など）
検討事項：目的・候補地・設備スペック・予算（助成金など）・役割分担・スケジュールなど

■ これまでの国・県・市の動向

（1） 国（国交省・農水省・経産省など）の規制緩和・助成金制度が大きく前進しています。

（2） 静岡県農業水利施設を活用した小水力等利用推進協議会が発足し、事業立上げに向けて支援開始
島田市からも、島田市役所・商工会議所・商工会・有力事業所・市民環境活動団体など正会員で入会

（3） 島田市総合計画・後期基本計画、環境基本計画上の記述
「市内の豊富な水資源を活用した小水力発電の導入促進に努めるほか・・。」　『導入について検討します。』

（4） 百人会議への市長回答　**「小水力発電については・・課題がありますが、今後、県と導入について検討を行なっていきます。」**
「再生可能エネルギーを利用した発電の課題として、発電余剰電力の蓄電が出来る環境が整っていないことが挙げられる。エネルギーの地産地消、災害時の電力確保の観点から、蓄電システムの構築を進める。」

2．テーマ名　「ごみの資源化を更に推進しよう」

■ 目的（目指す方向）

（1）中長期的に、ごみは宝だ！の理念を持って「ごみは出さない、燃やさない、埋め立てない」を目指す。

（2）短期的には、「ごみの減量化市民運動」を展開し、已む無く出てしまったごみは更なる資源化を目指す。

（3）資源ごみは、収集・処分のルールとその仕組みを全てオープン化し、一円でも多くの収入増を目指す。

（4）燃えるごみを構成する、資源・雑ごみ・水・生ごみに分けてそれぞれの対策を立案し、実行する。

■ 目的達成のための手段

（1）既存のごみ処理ルール・仕組みの見直しと、施設の発展的メンテナンス（お金をかけずにチエを出す）

■ これまでの調査・検討状況

（1）田代環境プラザ視察　１回　（2）市・環境課職員による出前講座「ごみ問題の質疑応答」　１回

（3）分科会内勉強会　１回　（4）分科会内ミーティング　３回

（5）「ごみの分別とリサイクルに関する市民意識調査」島田市の循環型社会を考える会に協力・実施　１回

■ 今後の進め方　←　行政・市民の協働で検討・実施したい。

（1）合同検討会の設置（市・ゆめみらい百人会議・市民環境団体）
検討事項：現状収集処分ルール・仕組みの見直し、収入分析比較、新ルール・仕組みの構築・実施計画

■ これまでの市の動向と見解　（3 月 25 日　百人会議全体会で、市長　口頭回答）

（1）ごみの資源化は高いレベルで実施できている。　（2）古布の回収を試行的に実施中である。

（3）生ごみは、①水切りの徹底の協力依頼　②生ごみ処理容器の普及　③　キエーロの普及（モニター）

（4）生ごみの分別収集については、集積場所や収集方法の課題があることから実施は考えていない。

■ ゆめ・みらい百人会議の見解

（1）ごみ処理の年間経費（約 13 億円）の節減と、資源化による収入増は、まだ見直し余地があると思う。

（1／2）　裏に続きます。

（ ご質問等お問合せ：分科会リーダー　白石　☎ ０９０－５７３５－３４４７ ）